- 1. 参加者 井上圭右、井上裕子
- 2. 山域/ルート 秋田県の山 (森吉山・和賀岳・乳頭山・太平山)

青森県の山 (白神岳・八甲田山・岩木山・縫道石山)

北海道の山 (恵山・大千軒岳・渡島駒ヶ岳・狩場山・空沼岳)

- 3. 交通手段 自家用車
- 4. 行動記録
 - ・7月14日(土) 森吉山 1454m 秋田県 ヒバクラ岳登山口5:58-7:43 ヒバクラ分岐-8:30 山人平-8:58 森吉山9:08 -9:33 山人平-10:02 ヒバクラ分岐-11:30 ヒバクラ岳登山口
 - ・7月15日(日) 和賀岳 1440m 秋田県・岩手県 高下登山口5:40-6:30高下分岐-7:05和賀川徒渉点7:25-8:57こけ平 -9:30和賀岳9:46-10:08こけ平-11:23和賀川徒渉点11:42-13:06高下登山口
 - ・7月16日(月) 乳頭山 1478m 秋田県 蟹場6:17-7:05 蟹場分岐点-8:30 田代平山荘8:45-9:20 乳頭山9:23 -10:02 田代平分岐-11:12 孫六-11:25 蟹場
 - ・7月17日(火) 太平山(たいへいざん) 1170m 秋田県 旭又登山口6:00-6:30分岐-8:13宝蔵岳-9:03太平山9:26-10:08御手洗 -10:57御滝神社-11:30旭又登山口
 - ・7月18日(水) 白神岳 1232m 青森県 登山口5:30-6:12 二股分岐-7:23 マテ山分岐-8:45 大峰分岐-9:02 白神岳9:15 -9:33 大峰分岐-10:40 マテ山分岐-11:42 二股分岐-12:10 登山口
 - ・7月19日(木) 八甲田山 1584m 青森県 酸ヶ湯公共駐車場8:47-10:06 仙人岱-10:46 大岳10:58-11:14 大岳鞍部避難小屋 -毛無岱-12:30 城ヶ倉分岐-12:55 酸ヶ湯公共駐車場
 - ・7月20日(金) 岩木山 1625m 青森県 嶽温泉6:23-8:35 八合目-9:38 岩木山10:10-11:03 八合目-12:30 嶽温泉
 - ・7月24日(火) 縫道石山(ぬいどういしやま) 626m 青森県 野平林道登山口7:20-7:42 野平分岐-8:33 縫道石山8:40-9:42 展望台(ババ岩) -10:06 登山口
 - ・7月25日(水) 恵山(えさん) 618m 北海道 賽の河原登山口5:58-6:13権現堂コース入口-7:00恵山7:15 -7:57権現堂コース入口-8:12賽の河原登山口
 - ・7月26日(木) 大千軒岳 1072m 北海道 奥二股登山口5:40-6:38 広い河原-7:36 金山番所跡-9:15 千軒平-9:55 大千軒岳 10:05-10:30 千軒平-11:42 金山番所跡-12:38 広い河原-13:45 奥二股登山口
 - ・7月27日(金) 渡島駒ヶ岳 1131m 北海道 赤井川登山口6:36-7:25馬の背-砂原岳への鞍部経由-8:43剣ヶ峯8:50 -9:52馬の背-10:35赤井川登山口
 - ・7月28日(土) 狩場山 1520m 北海道 千走登山口5:32-6:38 五合目-7:22 八合目-8:12 狩場山8:22-9:05 八合目 -9:38 五合目-10:33 千走登山口
 - ・7月31日(火) 空沼岳 1251m 北海道 登山口5:46-7:42万計山荘-8:30 真簾沼-9:20 空沼岳9:37-10:23 真簾沼 -10:58万計山荘-12:40 登山口

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

- a) 予定のルート・日程で行動出来たか? できた
- b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか? なし
- c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか? なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など

- ・今回は東北北部~道南とこれまでなかなか行けなかった地域の13の山を登った。
- ・この地域で一番こわいのはクマ。熊鈴はもちろん、特に出そうな山には熊よけスプレー を持参した。クマに会うこともなく、途中からクマのことを忘れて歩いていた。
- ・序盤の東北では気圧の谷にあたり天候不良の日もあったが、途中からは高気圧におおわれ天候の心配をせずに登れた。日差しが強く気温も上がり暑かった。

- (山について) -

- ・森吉山はギンリョウソウが群生している樹林帯を抜けると広い湿原に花が咲き乱れている。ゴンドラでも山頂近くまで行けるためか登山道では人に会わなかった。
- ・和賀岳は奥深い山でクマも多いという話。渡渉があるのでスリッパを持参。膝くらいの渡渉。ここも樹林帯のあとは展望が開けお花畑が広がる。たくさんのウスユキソウにも出会えてうれしかった。頂上はニッコウキスゲの大群落が真っ盛り。
- ・乳頭山は雨まじりでぬかるみの道が延々と続いた。田代平の湿原は花が盛りで霧がかかり幻想的な風景。休日にもかかわらず一人の登山者にも出会わなかった。
- ・太平山では自衛隊(約70名)と出発がピッタリ重なり渋滞したが、途中から宝蔵岳コースに入って別れた。頂上には先に着き、自衛隊が全て到着するのを待って下山。頂上にある三吉神社(常駐・宿泊可)の若い宮司さんから「宝蔵岳コースは岩場があって危ないしクマもよく出るのでできるだけ登らないように」と注意された。
- ・白神岳は世界自然遺産の中にありブナの原生林が続く道。山頂近くは高山植物帯。 ガスのため展望がなかったのが残念だった。
- ・八甲田山は平日にもかかわらず多くの人がいろんなコースを歩いていた。山は明る く花は豊富、広大な湿原と散策するにも楽しい山だった。
- ・岩木山は岩木山神社から登るのが正攻法のようだが残雪の状況がわからなかったので嶽温泉のコースとした。八合目まで展望のない樹林帯をひたすら登る。この山も 八合目まで道路とリフトがあり登る人は多い。堂々とした大きな山といった印象。
- ・縫道石山は天を突く岩峰に特徴のある下北半島の山。岩に付いている地衣植物は天然記念物になっている。展望台(ババ岩)から眺めた頂上は見事。登山口には熊よけの鈴が箱に入れて貸し出ししており、私達もより賑やかにと一つ借りた。
- ・恵山は今も至る所から煙が出て硫黄の臭いが漂う現役バリバリの活火山。登山道はよく整備されており、眼下に海を見ながら歩いた。
- ・大千軒岳は隠れキリシタン殉教の地として千軒平に十字架が設置されている。川を何度 も渡りながら詰めていく北海道らしい登山道。渡渉のためスリッパ持参。コースが長く、 また道を見失ったりとたっぷり8時間かかった。出会った登山者は1人だけ。
- ・渡島駒ヶ岳は馬の背までは多くの人がどんどん登ってくる。そこから見る剣ヶ峯は 傾斜があり険しい。張り巡らされたロープをくぐって反対側の砂原岳の鞍部あたり に大きく回り込むと剣ヶ峯に続く細々とした道が見つかり山頂にたどりついた。
- ・狩場山は山頂に近づくほど傾斜がなくなるのっぺりした大きな山。八合目までは樹林帯、それを越えるとお花畑(シナノキンバイの群生)や湿原・池塘が広がる。
- ・空沼岳は沢沿いの道をたどり途中2つの美しい沼に出会う。北海道の中でも人気の 山で平日でも多くの人が登っていたが、時間と労力もかかる山だった。

2018年8月8日 報告者氏名 井上 裕子



森吉山の樹林帯、白樺のさわやかな道



森吉山の山人平、ニッコウキスゲが真っ盛り



和賀岳の渡渉、冷たいがきれいな水



和賀岳のこけ平、山頂までお花畑



乳頭山の田代平、霧がかかり幻想的な風景



雨の太平山頂上、神社と山小屋(宿泊可)



世界自然遺産の白神岳、ブナの原生林が続く 白神岳山頂に一番乗り、霧で眺望なし





八甲田山、前方に最高峰の大岳



八甲田山の毛無岱、広い湿原の向こうは大岳



岩木山の頂上はもう少し



岩木山山頂、鐘を鳴らす



下北半島、縫道石山の頂上



展望台(ババ岩)から見た縫道石山



恵山は海に近く、津軽湾から本州が見える



恵山、そこかしこに噴煙と硫黄臭が漂う



大千軒岳、ジャブジャブと楽しい渡渉



大千軒岳の千軒平、お花畑と殉教の記念碑



渡島駒ヶ岳、尖った岩の向こうに本当の頂上



渡島駒ヶ岳、ロープをくぐり戻ってきた



狩場山頂上近くのだだっ広いお花畑



狩場山山頂、毎日好天続きで暑い



空沼岳山頂、抜けるような青空



空沼岳中腹の万計沼から流れ出す川



縫道石山の登山口で見つけた 左の箱の扉を開けると・・・→ 貸出用の鈴がいくつか 登山前に一つを借りて、 登山後に元に戻しました 熊には会えませんでした



今回は季節がよいのかあちこちで花が一杯でした。その中のほんの一部です。





渡島駒ヶ岳 岩稜に可憐な花を見つける



狩場山は種類が多い



